

## 日本工学会創立100周年記念事業

### 主旨

日本工学会は明治12年11月18日に創立され、今年でちょうど満100年を迎えます。創立当時、東京帝国大学の前身であります東京大学と工部大学校にあった工学系の学科は、土木工学科・機械工学科・造船学科・電気工学科・造家学科（現在の建築学科）・応用化学科・採鉱冶金学科の7学科でした。

それら各学科のうち、工部大学校にあった7学科の第1回の卒業生23名が、明治12年11月卒業にあたって、このまま別れ別れになることを惜しんで作ったのが、日本工学会だったのです。

その後、工学系各学会の活躍が、わが国の繁栄につながり、技術の向上と、わが国経済特に産業の発展に寄与したことは、みんなが認めるところです。

創立当初23名だった日本工学会のメンバーは、その後増加の一途をたどったのですが、各専門分野の発展に伴って、明治18年「日本鉱業会」、翌19年「造家学会（現在の日本建築学会）」、21年「電気学会」、30年「造船協会（現在の日本造船学会）」、「機械学会」と専門学会が続々と独立していき、創立当初とは、その運営も少しく趣きを変えて行ったようです。

しかし、日本工学会の存在は厳然たるものがあり、特に創立50周年を記念して昭和3年に行った「萬国工業会議」は いまも日本工学会の大きい業績として残っております。

また、明治14年11月に創刊されて、大正10年10月まで続いた「工学会誌」は、今日、関係学界のみならず広く産業界あるいは技術史家のあいだで高い評価を受け、その複製版の出版を望む声も多いのです。

創立50年を過ぎた日本工学会は初期の目的を達したというより、今日では、各専門分野の学会の活躍がめざましく、戦後工学系12学協会から分化した、より細かい専門学会が続々と創立され、日本工学会傘下の学協会は59を数え、むしろその中心的存在として日本工学会の活躍が期待されて来たのです。

最近では、技術の総合化、産業機構の超大化に伴って、一専門分野では対処することが困難になり、学術研究はもとより現場技術の総合的解析、境界領域の重要性が採り上げられ、再び日本工学会の存在がクローズアップされて来たのです。

現在一つの傾向として技術万能への反省を含め「脱工学」の声も聞かれますが、いたずらに工学・技術の否定をすることは簡単ですが、工学を考えずに現代社会が成立しないことは自明のことであり、日常生活の中の工学と、明日につながって行く工学はいかにあるべきかを、国民一般に知ってもらう必要があるのではないかと考え、日本工学会創立100年を記念して、「工学知識の普及・啓蒙に関する事業」を企画いたしました。

公開行事につきまして、関係学協会会員のご参加をお願いいたします。

■申込先：104 東京都中央区銀座 8-5-4

社団法人 日本工学会 Tel. 03-574-6176

### ■記念事業

#### 1. 創立100周年記念式典

日 時：昭和54年11月20日（火）11.00～12.00  
会 場：日本工業倶楽部大会堂（東京・丸の内）  
（希望者は所属学協会を通じて日本工学会へお申し出ください）。

#### 2. 創立100周年記念祝賀パーティー

日 時：昭和54年11月20日（火）12.00～13.15  
会 場：日本工業倶楽部中食堂  
（希望者は所属学協会を通じて日本工学会へお申し出ください。会費5000円）。

#### 3. 記念講演会

日 時：昭和54年11月20日（火）13.30～16.00  
会 場：日本工業倶楽部大会堂（東京・丸の内）  
講 演：  
日本人の生活の知恵にみる工学  
国学院大学教授 樋口清之  
工学と安全（仮題） NHK解説委員 柳田邦男  
定 員：350名（入場無料、「往復はがき」で日本工学会へお申し込みください）

#### 4. 記念論文集の刊行

- 1) 工学将来の展望 各専門分野の工学・工業・技術などの将来展望。約50学協会よりそれぞれの分野における「展望」記事提供。
- 2) 工学100年の歩み（年表） 工学に関する100年の年表を作り、それに工学会をはじめ、各専門学協会の関連事項、その他参考資料を併せて掲載。B5判350頁（展望250頁、年表100頁）ご希望の向きは日本工学会へお申し込みください。

#### 5. 工学会誌の総索引誌の刊行

工学会誌（明治14年11月～大正10年10月）は、現在1セットしか完全に保存されておらず、貴重な文献である。そこで、これの総索引誌を作成し、将来のマイクロフィッシュ化への足がかりとする。B5判120頁 タイプ印刷。ご希望の向きは日本工学会へお申し込みください。

#### 6. 目でみる工学100年展

期 日：昭和54年11月20日（火）～12月2日（日）  
会 場：科学技術館（4,5階展示室・ロビー）  
（東京・北の丸公園）  
内 容：明治・大正・昭和と100年にわたって進歩を遂げた技術の源泉と、今日の技術とのつながりを目で追ってもらうため、具体的な物を中心に、グラフ・写真・説明などを系統的に展示し、正しい工学知識を知ってもらう。

#### 7. テレビ放送

NHK教育テレビ特集番組「日本の工学100年の歩み」放映 日時未定